

科目名	地域づくり論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Regional Economy	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目	○	修得単位 2単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	□ 対面のみ □ 遠隔のみ ■ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	わが国の新たな輸出産業は「日本の文化」だといわれる。世界が注目するクール・ジャパンとは何か？ 地方創生法の施行は、従来の地域づくりにとほどのように変わっていくのかを考察する。			
到達目標	地域経済の現状と課題の整理と課題の解決策を自ら考える			
授業概要	成熟化した日本経済と地域経済の新たな選択とは何かを探る			
授業計画				
第1回	地域とは何か～地域政策の変遷			
第2回	地域協働とコミュニティ再生（1）～江戸時代の割地と川端（かばた）を事例として			
第3回	地域協働とコミュニティ再生（2）～沖縄国頭村の共同店舗と道の駅			
第4回	世界的な潮流としてのソーシャルビジネス（社会起業）			
第5回	欧州のソーシャルビジネスを支えるソーシャルファイナンス（意思のあるお金）			
第6回	我が国のソーシャルビジネス（社会起業）事例			
第7回	我が国のソーシャルビジネスを支える新たなファイナンス～クラウド・ファインディング			
第8回	インバウンド観光と地方経済の活性化～DMO			
第9回	ソーシャル・インパクト投資～ARUN合同会社			
第10回	TPPと地方農業の革新～新潟のスマート農業			
第11回	震災復興と地域協働～コミュニティの再生			
第12回	中心市街地の活性化と秋田～外旭川のイオンモール計画			
第13回	秋田におけるNPO・コミュニティビジネス・スモールビジネス			
第14回	秋田の地域づくりとは～SDGs・ESG投資。グリーンリカバリーの観点から			
第15回	地方創生法の概要～国家戦略特区とハンズオン投資			
第16回	期末試験			
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと			
履修条件 受講のルール	地域に関心を有していること			
テキスト	プリント配布			
参考文献・資料	追って連絡します			
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日			
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
実務経験及び実務を活かした授業内容	日本政策投資銀行に勤務。地域開発の審査・融資・企画業務を経験。また設備投資研究所、開発総合研究所において研究・調査実務にも従事。国土交通省の地域振興アドバイザー、UR都市機構ののまちづくりアドバイザーなど歴任。区画整理促進機構の評議員会委員長も勤める。政投銀の地域開発研究所と連携し、ネットワークを活かした最新の情報を提供する。			

学生への
メッセージ

地域づくりの既成概念を壊しましょう